

1日1日を大切に 諸課題に取り組む

9月、2学期の始まりと同時に理事者室からも夏休み気分は消え、次々と迫る種々の課題に皆が精力的に取り組んでいます。私の担当の中からそうした課題の一端を示すとともに、理事者の仕事ぶりをご理解いただければと思います。

多摩支部の移転問題

東京三会多摩支部会館は、2009年4月、多摩都市モノレール高松駅前の(仮称)アーバス立川ビルに移転します(地家裁支部の移転開設は4月20日予定)。三会の共同賃借部分は約207坪で、東弁は隣接して研修・会議室用に約61坪を単独賃借します。9月中を目処に、間組との間で工事請負契約を取り交わす予定です。他所で開催していた支部総会や研修等が新会館で開催できるようになります。

2007年度の三会理事者会は、新会館開設後の現八王子支部会館の売却処分と、八王子法律相談センターのJR又は京王八王子駅近辺への移転に合意しています。移転後のこの課題にどう取り組むか、支部会員数が圧倒的に多い東弁が今後の議論の方向性を決めるものと思われれます。

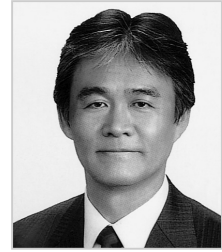
いずれにせよ、新会館への移転を機に、多摩支部の活動が一層充実し、会員と市民にとって支部の利便性が大いに増すことが期待されます。

男女共同参画推進本部の活動開始

9月から東弁の男女共同参画推進本部が活動を開始します。推進本部は、男女共同参画基本計画を策定し、女性会員の政策決定過程への参画拡大を始め東弁

副会長 太田 治夫 (37期)

主な担当業務
法律相談、労働法制、公害・環境、
両性、外国人、公益通報者保護、
会員サポート窓口



における男女共同参画の推進を図っていきます。東弁は昨年も今年も理事者7人が全員男性といった状況ですが、先進会の二弁のように、毎年少なくとも1人は女性会員が理事者を務めるという時代が間もなくやって来るでしょう。

克服すべき課題は…

このほか法律相談センター、労働法制、公害・環境、外国人、両性、公益通報者保護、会員サポート窓口、そして運動会実行本部などが私の担当です。副会長になって初めて関わる委員会も多く、会務に関する視野が格段と広がりました。そのうえ、日弁連理事を兼務していることもあって、法曹人口問題を始め日弁連が直面する課題の最新の議論状況に接する機会も得られます。日弁連理事会では毎月多くの議題と膨大な資料(積み上げると10センチ近く)に圧倒されています。

副会長に立候補した際、選挙公報に「弁護士会は厳しく困難な変革期にあって、克服すべき課題が山積している」などとほんの軽い気持ちで書きました。理事会や各種委員会の資料ファイルは急激に増殖しており、現在私の克服すべき課題は山積しているファイルの整理となっています。

* * *

事務所と顧客にはいろいろ迷惑をかけていますが、多くの会員や職員の皆さんによって会務が支えられていることを実感でき、弁護士会を取り巻く様々な課題について考えることができるというのは、副会長ならではの貴重な経験です。今後も1日1日を大切に諸課題に取り組んでいきますので、よろしくお願い致します。